

熱間浸漬型可剥性プラスチック

防錆保護材

# シールピール SC

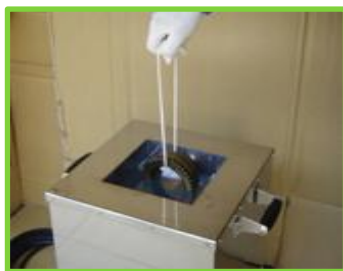
金属部品の防錆と梱包を可能にしたプラスチック





## 防錆保護材 シールピール SC とは

シールピールSCは、精密測定工具、切削工具、機械、船舶、自動車、航空機部品 等の 防錆防毀損の目的で 半世紀以上、積み重ねられた実績と信頼性によって今日まで皆様に広く使用されております。特に安全性の高い綿花やパルプを主原料とした植物由来のセルロースに植物油と高度精製油を配合したプラスチック保護剤は耐衝撃性・耐寒性・耐熱性に優れているため 金属製品・部品の長期貯蔵保管と厳しい環境下での、陸・海上輸送の塩害・風害に対応できる 特性を有し、必要な時、いつでも簡単にバナナやミカンの皮を剥ぐように取ることができます。また剥いだ被膜は新品に加えて再度使用することも可能です。シールピールSCは従来からご利用頂いておりますシールピールED-7を最少ロット5kg入りパックにご提供している商品です。



## 主 成 分

組 成	原 料
セルロース樹脂	天然綿花・パルプ
植物性油脂	精製 ヒマシ油・加工大豆油
高度精製油	石油炭化水素(防錆油)
酸化防止剤	FDA認可品使用

FDA・・・アメリカ食品医薬局の略

## 物 性

使用温度	180℃～190℃
加熱限界温度	200℃
浸漬時間 (デップ)	5～10秒
硬化時間 (指触乾燥)	30秒～60秒
引火点	220℃ (液状時)
引張力	26Kg/cm <sup>2</sup> 以上
外 観	薄茶褐色固形

\*原料ロットにより外観 色ぶれ多少有り



## 作業手順について

### 1. 保護しようとする物品の前処理

物品に油分、ゴミ、指紋が付着していると錆の発生原因になりますのでシールピールで保護前に有機溶剤や指紋除去剤(シールコート85)等で清浄して下さい。

**作業開始** シールピールを溶かすには温度調整が付いている電気式容器等をご利用下さい。

- まず差込プラグを電源に入れます。次に温度コントロール付きの溶解タンクの中に細かく切ったシールピールを八分目位入れて、上蓋してタンクの指示ダイヤルを**180°C**に合わせます。(使用温度は180から190°C以下です。)
- **1時間から2時間の**ちに、そっと上蓋を開けて中のシールピールを**金属棒でかるく攪拌**全体がまじり合うようにして下さい。(溶ける時間は容量により異なります。)
- 泡が小さくなって来たらその中に**数秒間**、物品を入れて引き上げます。この時 空気中への放熱作用で30秒から60秒で形状通りに防錆保護されます。そのまま作業台の上に置けますが形状の外観を綺麗に見せる場合には、しばらく紐や針金やマグネットを利用して吊るして置くと仕上がりが綺麗です。
- 使用しているうちにタンク内の液面が減ってきますのでタンクの四隅の所に細かく切った**シールピールのブロック**をつぎたして補充して下さい。60時間以上熱が加えられますと分離や分解しますので出来るだけ速めにお使い下さい。
- 作業場の環境を快適にするために容器やタンクの設置場所を考え**換気扇やダクト**の設置が必要です。但し製品には有害な成分は含有してありません。

## 使用上の注意

- ・ シールピールは**180℃～190℃**で使用して下さい。**液温度が210℃を越えますと引火の恐れ**がありますので、200℃以上には絶対に温度を上げない様に管理して作業下さい。
- ・ 作業中は高温ですので**ヤケドをしない様に保護手袋や作業用の前掛け**を着用して安全対策を考え作業を行って下さい。
- ・ 都市ガスやプロパンガスでの**直火での作業は引火して危険**ですので避けて下さい。シールピールを溶かすには間接加熱出来る電気式の容器を利用して下さい。作業終了後は、安全のために容器や溶解タンクの電源を切して下さい。
- ・ 残ったシールピールは翌日以降の作業で出来るだけ早めに使い切ってください。

## 備考

消 防 法 : 非危険物・火災予防条例 指定可燃物 可燃性固体  
PRTR (特定・1種・2種) : 非該当  
RoHs規制 : 非該当  
PFOS規制 : 非該当  
EU REACH ( SVHCの161種類 ) : 非該当

**DAIKYO CHEMICAL CO.,LTD**

〒144-0044

東京都大田区本羽田2-9-20

電話03-3742-5352 FAX03-3742-2179



**荷 姿**

5Kg箱入り・・・約500gブロック×10個